



Central TIMES

3月臨時号 2008.3.17

福岡教育大学サッカー部のみなさん、お世話になりました。

4年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今までご指導して下さい本当にありがとうございました。子供達だけでなく、私達指導者も皆さんの指導する姿やプレーする姿を見て本当に勉強になりました。宗像に福岡教育大学のような素晴らしい大学があることを本当にうれしく思います。子供達も皆さんから教わったことや姿を思い出しながらプレーしていくことと思います。これからのサッカーに携わっていかれる方も多いと思われます。セントラルのことを忘れないで、近くに来た際にはぜひお立ち寄り下さい。これからもよろしく願います。 <代表 大石 潤>



卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。昨年も小学生やゴールキーパーを中心に指導に関わらせていただきました。卒業生のみなさんはこれからそれぞれの場で、サッカーに携わっていくと思います。また、サッカー以外の別のスポーツを行うのかもしれない。どんな事を行うにしても、自分が決めたことを途中で諦めたり、投げ出したりしないで下さい。止めたいと思った時でも、後悔をしないようもう一度挑戦する気持ちを持って頑張ってください。心から応援しています！在団生のみなさんは今年1年、卒業生に負けないような良いチームに出来るように日々の練習を頑張ってください！ <3年 千々岩 宏>

私はセントラルのみんなと練習を一緒にしたり、みんなが試合をしているのを見たりするのがとても楽しみでした。セントラルではサッカーのことはもちろん、サッカー以外のことも多く学ぶことができます。私もいろいろなことを学ぶことができました。来年から中学校や高校の部活に入る人も、セントラルで学んだことを生かして頑張ってください。私は大学二年時からセントラルとかかわってきたのでセントラルのみなさんと多くの思い出をつくることができました。卒業後も機会があれば顔を出したいと思います。今までありがとうございました。 <4年 百田 裕>

進路は教師になります。一年間宗像セントラルで指導をさせていただいて多くのことを学ぶことができ本当に感謝しています。セントラルのみなさんには、今、自分が一生で一番大切な時期にいるということを考えてほしいと思っています。プレイヤーとして人間として今が一番吸収できる時です。自分のために人の話をしっかりと聞き、自分なりに考えることが一番大切だと思います。みなさんが一生何らかの形でサッカーにたずさわられたら、指導した僕達にとってもとてもありがたいことだと思います。最後になりましたが、大石さんをはじめ保護者の方々には温かいご支援を頂き充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。 <4年 古江たかし>

宗像セントラルにわずかではありますが携わらせていただいたことにより、私自身にとってとても大きな経験になりました。指導についての難しさを知ると共に、おもしろさ、子どもたちの将来に触れている責任感を実感し、ますますサッカーについて興味をもつことができました。子どもたちからは毎回多くのことを学びます。私も鳥取で指導者としてがんばりますので、いつかみなさんと一緒にサッカーができることを楽しみにしています。一年間ありがとうございました。 <4年 渡辺 孝夫>

みなさん元気ですか？みんなとサッカーをすることができて、とても楽しく、勉強になりました。みんなと一緒にサッカーをして感じたことがあります。それは、みんなの可能性の大きさです。夢を持ってください。今のみんなは、ボールを扱えば扱うほどサッカーがうまくなります。走れば走るほど足が早くなります。その吸収力を生かして、今から夢に向かって一生懸命に努力すれば、やりたいこと、なりたいものに必ずなれると思います。「夢を持って一生懸命」これをキーワードに頑張ってください。短い間ではありましたがお世話になりました。ありがとうございます。 <4年 伊藤 斎>

福岡教育大の古木です。今回は一年間お世話になりました。この経験で人に伝える難しさを感じ、また、いかにシンプルに伝えることが大事なことなのかを感じました。この経験を生かし高校でのサッカーの指導に当たろうと思います。ありがとうございました。 <古木 裕>

みなさん、こんにちは。まだまだ寒い日が続きますが病気や怪我はしていませんか？気温が低いと筋肉が固くなり怪我をしやすくなることはみなさんもよく知っていると思います。特に君たちのように体が大きくなる時期は、骨の成長に筋肉の成長が追いつかず、無理に筋肉を動かすことによって、筋肉や骨を傷めることとなります。そこで大切なのは練習前の準備運動です。準備運動といってもただストレッチをすればいいというものではありません。しっかり筋肉を温めてからストレッチをしないと逆に筋肉を傷めることとなります。今は技術も体力も伸びる大切な時です。みんなから遅れをとらないようにしっかり自分の体のケアをしましょう。 <今田 憲男>

川原です。進路は証券会社に就職します。昨年は宗像セントラルの子どもたちと一緒にサッカーができたこと、そしてクラブチームという組織に少しでも携わることと貴重な体験をさせていただきありがとうございました。セントラルの子どもたちと接する時間は多くなく、教えたこともたくさんありましたが、今回この場を借りてひとつだけお伝えさせていただきます。それは、是非感謝の気持ちを持ってサッカーをしてもらいたいということです。サッカー出来ることは当たり前でなく、お世話をしてくれる両親やクラブ関係者、また環境を提供してくれる地域の方々がいることを忘れずにプレーしてください。私は4月から福岡にいますので、是非成長している姿を見せてくれることを期待しています。 <川原 航一郎>

宗像セントラルには二年生の頃から参加させていただきました。去年は就活や実習などで参加する回数が少なくなってしまう、ご迷惑をおかけしました。三年間で人として、指導者としてもプラスになることが多く、大変貴重な経験つまずてもらいました。また関係者の方々にもよくしていただき、よい環境で参加することができました。ありがとうございました。宗像セントラルでの経験を今後、いかしていけるよう努力したいと思います。 <前杉 省吾>

宗像セントラルの三年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。福岡教育大学のサッカー部が携わらせていただいて、大変感謝しております。試合にも足を運んでくださり、大変私どもとしてはうれしく思い、これからもこの縁が長く続ければと思っております。一年間という時間は、あっという間でしたが、いい勉強をさせていただきありがとうございました！またこれからのみなさんと宗像セントラルの将来に、ご期待して挨拶させていただきます。 <岩元 泰佐>

一年間宗像セントラルとお付き合いさせていただきありがとうございました。とても楽しかったです。小学生の時の自分を少し思い出しました。みんなJリーガーを目指しているのだから、好きな事を頑張ってくださいね。好きな事といえば自分は音楽(ラップ)をしていて、インディーズながらCDデビューが決まりました。3月16日発売で芸名が「TUCCI」でアルバムタイトルが「不屈乃侍」です。11曲入りで1500円とお安く、サンリブのCD屋さんや春屋書店においでますので是非聞いてください。サッカーで挫折したときに効果的な男らしい曲ばかりです。ではお互い夢を現実にできるように頑張っていこうね。一年間お世話になりました。 <4年 江口 司>

こんにちは。Jr.ユースの方でお世話になりました。玉城竜太です。来年度から福教大大学院への進学が決まっています。私は将来的に高校の数学教師を目指しておりますが、もうひとつサッカーの指導者という夢があります。宗センの活動で、初めての指導者の立場というのを経験させて頂いて、多くの壁にぶつかってはいるものの、教えることの素晴らしさを改めて感じる事が多くありました。私はこの経験を大いに生かし、将来夢を叶えることが出来るように頑張ります。宗センの皆も夢を見つけてそれに向かって頑張ってください。 <4年 玉城 竜太>

宗像セントラルを指導できたこの一年は自分にとってとても貴重な経験ができた一年でした。子供たちにサッカーを教えることで自分も成長できました。みなさんはこれからもサッカーを通じていろいろな人のつながりを大切にしてください。そして、常に向上心を持ってサッカーに取り組んでください。大石さんをはじめスタッフの方々、また保護者の方々これからも福岡教育大学サッカー部をよろしく願います。本当にお世話になりました。 <河内勇太>

去年1年間、1週間に1回くらいしかお手伝いできませんでしたが、指導者として宗像セントラルに携われたことは私にとって非常に貴重な機会でした。またライセンスの資格を取る際も子供たちに手伝ってもらい、感謝しています。接していただく子供とも面白く、サッカーに一生懸命になっていたのだから、これからもサッカーの上達と共にサッカーを通じて人間的にも成長していきましょう。これからも福教大サッカー部との関係を引き続きお願いします。1年間でしたが、ありがとうございました。 <佐々木 洋社>

私は、宗像セントラルの皆さんと関わることで色々なことを学びさせていただきました。教員になろうと考えている私にとって、児童達との関わりは本当に勉強になりました。それに、毎回来る度に元気よく挨拶してくれ、接してくれる児童達にたくさんの元気をもらっていた気がします。卒業生には、中学生、高校生になったら不慣れな環境のために、人間関係にトラブルがあってしまうことがあるかも知れ。線。しかし、持ち前の明るさ、宗像セントラルのコーチ方から教えていただいたことを思い返せば、必ず解決することができるはず。卒業してもサッカーの楽しさを自ら感じ、さらにこれからは周りの人達に伝えていってください。在校生の皆さんは、これから一年、サッカー、学校において、一つずつ目標を持つようにしてください。そして、一年後には達成できなくてもいいので、少しでも目標に近付けるように、一日一日を大切に過ごしてください。一年間でしたが、コーチの方々、児童の皆さん、本当にありがとうございました。 <山下 研一>